

2022年度消費生活に関する学習会報告書

- 1 事業の実施場所・日時
オンライン参加のみ（Zoom使用）各自パソコン等から参加
2023年3月28日（火） 13：30～15：15（入室13：00～）
- 2 テーマ：「持続可能なパーム油の生産とボルネオ島での生物多様性保全の取組」
【野生生物を救うサラヤ緑の回廊プロジェクト】
- 3 講師：中西 宣夫氏 サラヤ株式会社 現地調査員
認定NPO法人 ボルネオ保全トラスト・ジャパン 理事

20年前、環境にやさしいとされていた植物由来の洗剤の原料が東南アジアの熱帯雨林の生態系を破壊していると誤解されてしまい大炎上してしまったサラヤ株式会社は、課題解決に向けてボルネオの生物多様性保全活動をスタートしました。活動初期から「ボルネオ環境保全プロジェクト」に関わっておられる中西宣夫氏をお招きして、プロジェクトの一つである「緑の回廊プロジェクト」についてのお話を伺いました。

- 4 参加者：28名

- 5 当日のスケジュール

- 13：30 開会のあいさつ・県生協連会長理事 登坂 康史
第1部「野生生物を救うサラヤ『緑の回廊プロジェクト』講師中西 宣夫氏
- 14：25 第2部 5グループに分かれてのグループ討議
- 14：55 グループ討議の発表
- 15：00 講評・サラヤ株式会社中西 宣夫氏
- 15：10 閉会の挨拶・新潟県消費者協会会長 本多 満喜子

第1部では持続可能なパーム油の活用とボルネオ島での生物多様性の保護の活動について現地での実際の映像を交えながらお話をお聞きしました。私たちが知らなかった現地の様子を目にし、これまでの活動を通しての中西氏の言葉のひとつひとつが参加者の胸を打つものでした。

第2部のグループワークでは、参加者からは以下の意見が出されました。（抜粋）

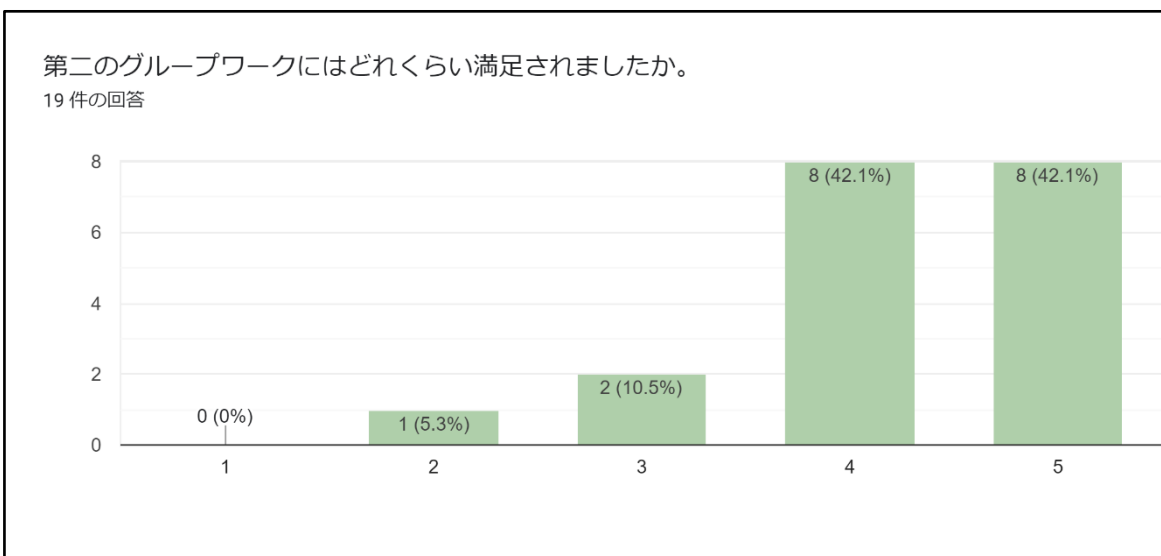
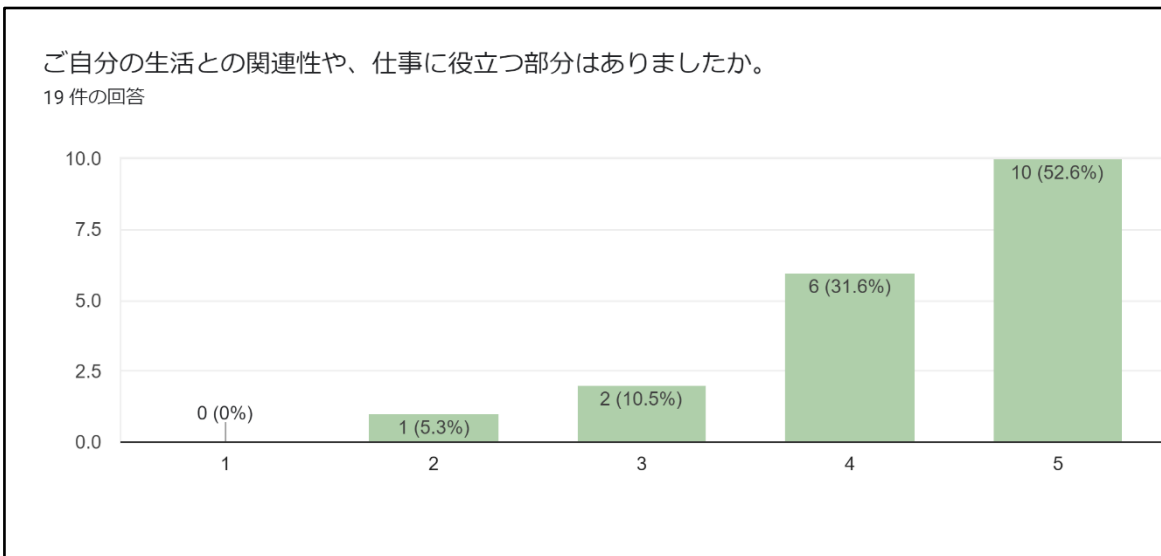
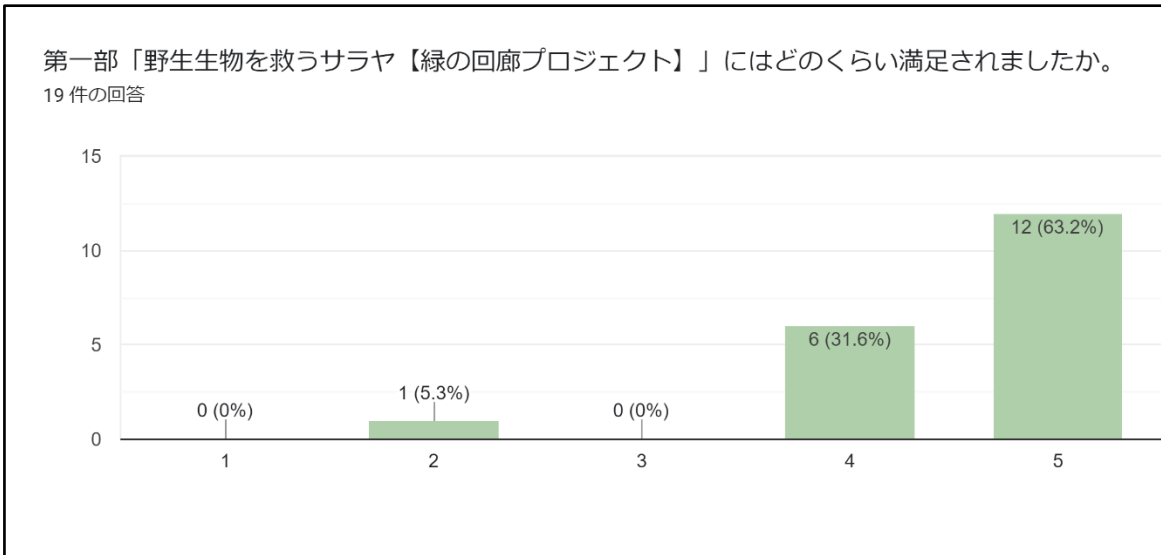
- ・「ヤシノミ洗剤は人にとって優しいという認識はあったが、裏側は知らなかった。知ることは大事だと改めて認識した。」
- ・「企業がPRをする難しさを感じた。消費者はテレビや新聞の広告を見ることは多いが、それ以外の情報は消費者が一生懸命情報を探さないと入手できない。事業者はいろいろな取組をもっとアピールしてほしい。」
- ・「ボルネオ島の原状を知り衝撃的だった。知ることによって消費生活が変わる。知ることは大切。また、無理をせずに、持続可能な態様で、環境配慮、エシカル消費を続けることが大切。」
- ・「消費者と事業者の双方の想いを互いに知ること、いろいろな課題が解決できると思う。」

参加者は自身の消費行動を振り返る良い機会となり、併せて消費者と事業者との対話の重要性も再認識でき、学習会として大きな効果を得ることができたと感じています。

（文責 理事・大石裕子）

参加者アンケート

1 2 3 4 5
まったく満足しなかった ○ ○ ○ ○ ○ 非常に満足した

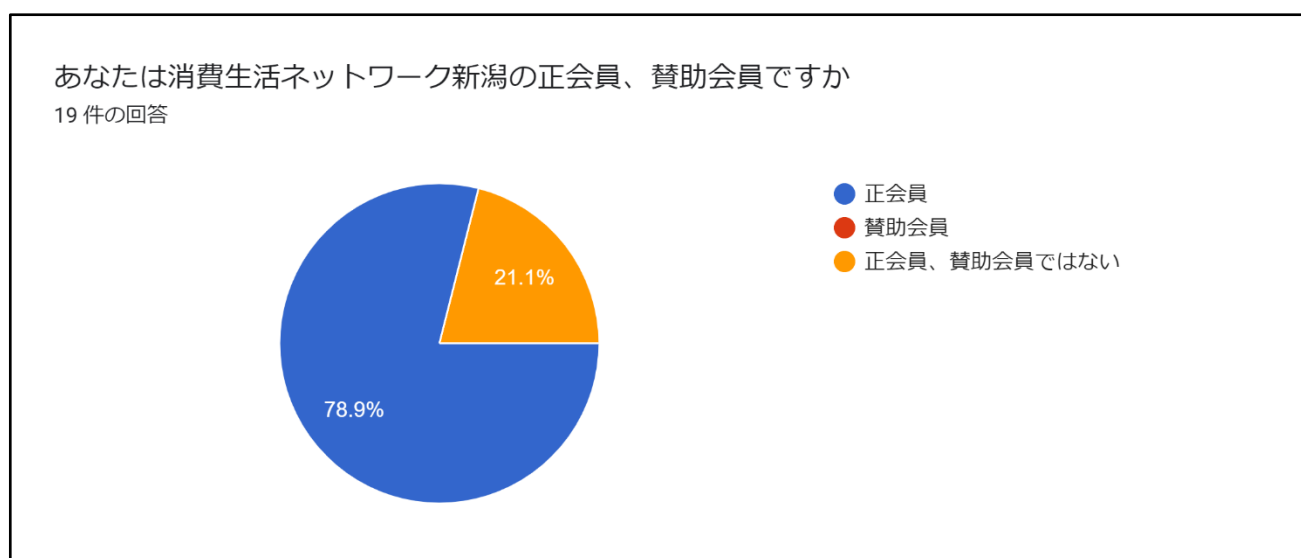


学習会に関するご意見、ご感想をお聞かせください。

- ・学習する必要性を改めて感じました。
- ・実際に現地で活動されている方の話は、迫力がある。映像はインパクトが強いので心に残るし、考えさせられることが多い。特に中西氏が、サラヤは「安いものを買う消費者が悪い」と消費者に責任転嫁しない。そのために行動しているということや、上場して儲け主義に走らないという企業理念が素晴らしいと思った。
- ・まだまだ、サラヤさんの活動を知らない方が多いのもっと知らせる活動をしていただきたいと思う。
- ・公害問題から人と環境を考え生分解性の高い植物原料を使用した商品づくりから、持続可能なパーム油生産のために野生動物や森を守りながら生産者や消費者の生活維持のために環境保全と原料調達の両方から問題に向き合っていることがすごい。
- ・講演後の話し合いが有意義でした。もっと時間があってよい。
- ・日々の生活で合成洗剤を使用しないこと、できるだけ少量使用することがまず考えることでしたが、さらに進んで天然油脂使用の洗剤を選択し購入する際、製造企業の環境への取り組みを知ったうえで購入する姿勢が私たち消費者に必要ではないかと思いました。講師の上場企業になるとサラヤのような環境への取り組み活動はできないのではないかとのお話には考えさせられました。
- ・今まで気にしなかった商品の裏側を見たような気がした。自分からは遠い場所で自分が使う商品の為に生態系が壊れていき、象が犠牲になっていた事、そしてボルネオ政府も動き出した事。人間と野生動物との共存には知る事が大切だと思う。この学習会に参加して、とても良かったと感じます。
- ・新しい情報、知識を得ることができた。また普段接しない団体の方の意見を聞いて良かった。
- ・今の豊かな生活は、発展途上国の犠牲の上で成り立っているのだなと改めて思いました。どうしたら地球上の生き物が穏やかに暮らせるのでしょうか。大きな課題ですが、一人ひとりの小さな積み重ねで実現できる事かも知れません。小さな積み重ねとは何か、水を汚さない、食品ロスの削減、商品の選択、フェアトレード等々、実践できる所から積み重ねます。暮らし方を考えさせる良い学習会でした。ありがとうございました。
- ・サラヤさんの取り組みに感動しました。もっとたくさんの人に知って欲しいと思います。サラヤさんのような企業が増えることを願います。そのためには私達消費者も変わらなければと思いました。
- ・地球のためや人間のため開発した物が、野生動物の生活圏内を破壊している実態に驚くと同時に人間の「エゴ」を痛感しました。サラヤのような企業がもっともっと増えてくれたら良いのに…とおもいました。大変勉強になりました。

・すみません。ワークに参加したくなかったので途中で退室しました。参加しない選択肢もほしかったです。他の主催者企画ではそういうのもありました。皆様の意見は拝聴したいですが、特に自分の言いたいことはありません。20年くらい前でしょうか、パーム油が環境破壊しているときいて、私はヤシの実洗剤からキッチンソープにかえました。今は変わったのかと思い今回参加しました。ヤシ単一のプラントでなくいろんな木と一緒に植えるようになったというのも聞いたことがあります。

・資料をデータでいいので、事前に送っていただけると、目を通すことができ、内容をより理解できるのではないかと思います。



以上